



あけましておめでとーござい
ます。

二〇〇七年の新春を迎え、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに平素の町政に対するご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、昨今の日本の社会経済情勢において、景気は回復しつつあると言われておりますが、厳しい財政状況は依然続いており、笠松町でも明るい兆しを見せておりません。さらに、三位一体の改革や地方分権の推進に伴い、地方公共団体独自の行財政運営が求められています。

こうした中、笠松町では一昨年に策定した「笠松町行財政改革推進プラン」に基づき、経常経費の削減や投資的経費の抑制、受益者負担の見直しなど町民の皆様のご理解、ご協力のもと町政運営を進めているところであります。全体的な事業を縮小、先送りした訳ではなく、緊急を要する事業の実施や将来の笠松を担う子どもたちの健康増進事

いきいきとしたまちづくりを目指して

笠松町長 広江 正明

業、町民の皆様が安心して暮らしていただくための防災防犯事業などにつきましましては、特化する施策として優先的に取り組んでおります。その結果、改革初年度は基金を取り崩すことなく、数値目標を達成でき、さらに「自助・共助・公助」の理念を基本とするまちづくりを町民の皆様にと少しずつ、ご理解いただけているものと確信しております。

本年はこの「笠松町行財政改革推進プラン」の最終年度を迎え、より厳しく踏み込んだ行財政改革が必要ではありますが、同時に少子化対策として不妊治療をされているかたへの助成制度の確立、住民の安心・安全対策事業としてAED（心室細動）などの際、電気ショックにより心臓を正常な状態に戻す機械）の公共施設への設置、教育対策事業として道徳教育の推進など、特化する施策も積極的に推進してまいりたいと考えております。今後、住民協働を基軸とした真の住民自治を目指し、町民の皆様とともに知恵と工夫により、将来的にも活力あるまちづくりに向けて邁進していく所存でございます。また、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



「新年の挨拶」



あけましておめでとーござい
ます。

輝かしい希望に満ちた新春を迎えるに当たり、町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから町政発展並びに議会運営諸般にわたり格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、「一年の計は元旦にある」と言いますが、私たちはともすれば目先のことにとらわれがちです。だからこそ、この区切りのときにじっくり自分を振り返ったり、周囲の状況にも目を配りながら新年の計画を立ててみることは、大変重要なことではないでしょうか。

町においても単独による町政運営が求められ、住民協働に基づく自助・共助・公助のもと新しいまちづくりを進めるため、自立と将来にわたり持続可能な基盤づくりを目指して、平成十七年に策定された行財政改革推



将来にわたり魅力あるまちを目指して

議長 太田 俊彦

進プランにより事業展開しております。

本年は、その区切りでもある最終年度に当たります。今一度、改革プランの原点に立ち返り、町行財政改革を積極的に推進し、さらなる飛躍をしなければならぬ年と考えております。

我々議会といたしましても、この笠松町が将来にわたり魅力あるまちを目指して発展し、存続することを願うとともに、「このまちに住みたい、住んでよかった」と実感できるまちづくり、にどう取り組んでいくのかというのが、議会に課せられた大事な課題であります。

そのためにも、引き続き、町民の皆様の声をしつかりと受け止め、多様化する住民ニーズを的確に把握し、その声を町政に反映させていくとともに、勇気と情熱、創意と工夫をもってさらなる努力を重ね、皆様の負託に応えるよう決意を新たにいたしております。

どうか、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。